

<2026年大学日本画展開催のお知らせ>

UNPEL GALLERY（アンペルギャラリー）は、運営母体であるあいおいニッセイ同和損保のメセナ活動として、全国の大学・美術大学と連携し日本画を学ぶ学生・卒業生に発表の場を提供しております。この企画は、日本画を志す若手作家の育成とともに、全国の美術教育・研究活動を支援し、日本画の伝統と日本文化の「美意識」「精神性」「技法」を未来へ受け継ぐことを目指すものです。

2026 年から 10 校が参加、若手日本画作家がそれぞれの作品を発信するロングラン企画（1 月～8 月）です。今回は 3 月 14 日（土）から多摩美術大学日本画専攻卒業、荒井 颯子・江越 里南・岡 千尋・我 4 名による展覧会を開催いたします。

■展覧会概要

タイトル	『Glint』 ～第 42 回大学日本画展＜多摩美術大学日本画専攻卒業生・修了生四人展＞～
会 期	2026 年 3 月 14 日（土）～ 3 月 29 日（日） 11:00 ～ 19:00（月曜定休・最終日 17:00 まで）【入場無料】
会 場	UNPEL GALLERY 東京都中央区日本橋 3-1-6 あいおいニッセイ同和損保八重洲ビル 1F
参加作家	荒井颯子(あらい さつこ)・江越里南(えごし りな)・岡千尋(おか ちひろ)・我(われ)
展覧会内容	展示名の「Glint」は一瞬のきらめきという意味です。私たち四人は在学中、近くにいらながらも、決して同じではなく、別々なものの中にきらめきを感じて制作をしていました。完全には見えないものの気配や、感覚的なズレの示唆をこのタイトルに込めています。 100 号の大作や屏風や掛け軸、小作品など、それぞれの表現方法も違うなか、お越し頂く皆さまが、一瞬のきらめきを見つけていただけたら幸いです。
主 催	多摩美術大学 絵画学科 日本画専攻
企 画	UNPEL GALLERY
協 賛	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

<ご連絡・お問い合わせ先>

ギャラリーオフィス 11:00～19:00 月曜定休（担当 / 井上・渡邊）

E-mail / tsubaki@unpel.gallery <https://unpel.gallery/>

TEL / 03-3548-7780 FAX / 03-3548-7781 * お問い合わせは E-mail にてお願いします

■作家プロフィール

荒井 颯子

神奈川県出身

2023 年 多摩美術大学絵画学科日本画専攻 卒業

2025 年 多摩美術大学大学院美術研究科絵画専攻日本画領域 修了

2022 年 「第 40 回上野の森美術館大賞展」入選

2023 年 個展「黄色い壁、いくつかの短い話」

(横浜マリニタワー2F アートギャラリー、神奈川)

2025 年 個展「The Silent Encounter」(PG gallery、ソウル)

2026 年 個展「Further Explorations」

(FOAM CONTENTPORARY、東京)

【コメント】

他者の物語を描くことで、人間同士の心の距離について考えています。



「不確かな記憶」

2025 年制作

455 × 530 mm

和紙、岩絵具、水干絵具

江越 里南

東京都出身

2023 年 多摩美術大学絵画学科日本画専攻 卒業

2025 年 東京藝術大学 大学院美術研究科文化財保存学専攻
保存修復日本画研究室 修了

2022 年 「第 40 回上野の森美術館大賞展」優秀賞

「第 24 回雪梁舎フィレンツェ賞展」佳作

2023 年 「文保日展」(東京藝術大学美術館陳列館/東京)

神山財団芸術支援プログラム 第 10 期生

2024 年 江越里南 個展「あわいに」(GALLERY IRO/東京)

第 30 回守谷育英会奨学金奨励賞

2025 年 KAMIYAMA ART 11th Exhibition

(渋谷ヒカリエ 8/CUBE/東京)



「ゆらめく」

2025 年

910×1167mm

和紙、墨、岩絵具、銀箔

【コメント】

動物を白を基調に描き、観察の中で生じる「見る／見られる」という感覚の揺らぎや、対象と対峙することで生まれる感情の変化を、絵の具を重ねた層として表現しています。

また、水面の屈折現象になぞらえ、他者との関わりの中で生じる認識のズレを、動物の造形を通して探求しています。

■作家プロフィール

岡 千尋

神奈川県出身

2023 年 多摩美術大学絵画学科日本画専攻 卒業

2025 年 多摩美術大学大学院美術研究科絵画専攻日本画領域 修了

2023 年 神山財団芸術支援プログラム 第 10 期生

第 29 回守谷育英会奨学金奨励賞

2025 年 第 3 回 FEI PURO ART AWARD 大賞者岡千尋個展

Liminal(Hideharu Fukasaku Gallery Roppongi / 東京都)

2026 年 コート・ギャラリー国立 第 32 回新春企画 岡千尋展「幻の庭で

会いましょう」(コート・ギャラリー国立/東京都)

【コメント】

見えない内面の感覚や、私が持つ幸福のイメージを大切にしています。
現実の中にいながらも、幻想へとつながる安らぎのある居場所の存在を、
自己を投影した人物像に重ねて表現しています。



「アンビバレント」

2024 年制作

1167 × 910 mm

和紙、岩絵具、箔

我

東京都出身

2023 年 多摩美術大学絵画学科日本画専攻 卒業

2021 年 上野の森美術館大賞展 入選

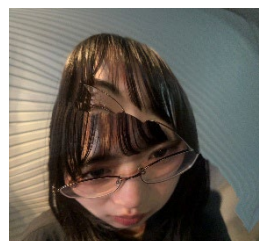
2022 年 SOMPO 美術館 FACE 展 2022 入選

2023 年 「WWW & w.a.u presents n.e.m」(渋谷 WWW)

2024 年 「GROUP SHOW」

(日本橋三越 COMTEMPORARY GALLERY)

2025 年 個展「DRIFT BACK」(ツバメスタジオ)



「STAR」

2025 年制作

803 × 803 mm

和紙、岩絵具、水干絵具

【コメント】

フランスの精神分析家であるラカンの精神分析論における鏡像段階を
根底に、自身の内在性や自我の探求をテーマに制作をしています。